



2025年度

静岡国際交流会館

日本人学生入居前ガイダンス

国際課

国際連携推進機構



入居前に確認

- 目的：①異なる国の学生が同じユニットに住みながら**お互いの国の言葉や文化を学ぶ**
- ②外国人留学生・研究者と日本人学生が文化的・言語的な壁を乗り越えることによって、**相互が国際感覚を養う**

- 入居条件：①**国際交流に関心があり、留学生との交流などに意欲が高いこと**
- ②入居期間は1年間
- ③**基本的に、外国人留学生・研究者と同じルールおよびペナルティが課される**

静岡国際交流会館の部屋

区分	室数	家賃	共益費
単身室（ユニット）	95室	25,000円	2,400円

光熱費は実費請求
退去時清掃費

- 建物設備／多目的室
- ユニット内共用設備／キッチン、エアコン、洗濯機、乾燥機、シャワー、トイレ、インターネット、倉庫、下駄箱
- 個室設備／ベッド、勉強机、タンス、寝具類一式
- ※寝具類一式: 敷布団、掛布団、毛布、枕、シーツ、布団カバー、枕カバー
- ※シーツ・カバー類は月1回の交換（指定日）
- ※駐車場なし

静岡国際交流会館に入居している学生

研究！
学位！

大学院留学生 (インドネシア、バングラデシュ、タイ、中国)

学部留学生 (中国、韓国、ベトナム、インドネシア、ミャンマー…)

半年～1年の留学生

(タイ、ミャンマー、インドネシア、ドイツ、フランス、韓国、タイ、台湾、ベトナム…)

日本語で日本
の大学生活

日本語
日本文化
日本の生活

外国人研究者 (単身室)

留学生の配偶者 (夫婦室、家族室)

日本人学生

国際交流・外国文化に
興味！！！！



国際交流会館での生活

5人で1つのユニットで共同生活

1人の個室 (ベッド、勉強机)

共有スペース (キッチン、洗濯機、シャワー、トイレ)

エアコン



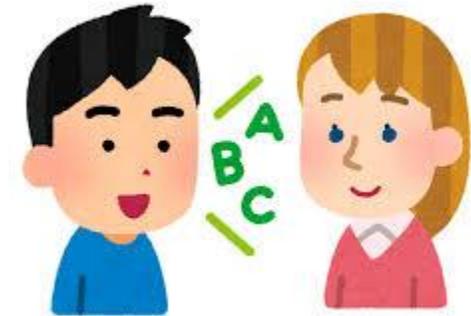
ラウンジ、多目的室

どんな生活でしょうか。

想像してみよう！

国際交流会館でどんな生活ができる？

- 1 「国際交流」ができる
- 2 英語の練習ができる
- 3 留学生とイベントやパーティーができる
- 4 困っている留学生を助けてあげる
- 5 多文化共生の体験ができる
- 6 日本にいながら海外留学体験ができる



留学生にとっての国際交流会館

外での生活

日本語で
= 外国語で

大学生活
(講義・ゼミ・実験)
サークル
バイト

実験成功
します
ように!

帰宅時間は
人それぞれ



会館での生活

外の生活からほっと一息できる
プライベートの時間
日常生活を送るところ



日本人入居者の先輩の生活



- 留学生のお兄さんたちにかわいがってもらった
- 花火やお祭りのとき、ルームメイトに浴衣を着せてあげた
- ルームメイトの料理の匂いで異国を感じる
- 異国の料理でおなかを壊した
- ベトナム語のスラングやイスラム教のことを教えてもらった
- 安い料金で外国の友達ができてラッキー
- みんな自分の生活ペースがある
- 留学生がみんな優しいから、自分も優しくなる。

先輩のアドバイス

- 国際交流会館は「住み家」。あくまでも「自然体」で。
- 仲のいいルームメイト、少し喋る程度のルームメイトがいる。
- 自分から話しかける
 - 顔をあわせるたびに挨拶や少し会話をするのが大切。
 - 気になることがあったら声をかける。
- 衛生観念が全く違う。潔癖症の人は会館の生活は向かない。
- 共同生活であることを理解する。部屋にこもらない。「お家大好き」な人は向かない。
- ユニットの公用語は日本語、ベトナム語、インドネシア語、英語・・・。
英語の練習はほとんどできない。ただし、違う言語や初めての人に対するバリアはなくなる。
- 自分磨きのためではなく、多様な人と関わる環境に身を置きたいと考える。
- 教科書では知ることのできない、その国に生きる人の実際の生活や考え方を知る。
- 「〇〇人として」ではなく、あくまでも個人・人柄同士の付き合い。
- 共有スペースに長くいると（勉強、食事）、たくさん話す機会ができる。
- 軽いノリが大切。とにかくやってみる。
- 細かいことは気にしない。



×日本人として



○個人として

○細かいことは
気にしない

×潔癖症

つまり、会館での生活とは、

- **多文化共生**

いろいろな価値観の集まり
多様な生活スタイルの集まり
自分が嫌だと思ふことは話し合う



- **海外留学体験**

華やかな部分 ⇔ 疲れて休みたい部分

- 留学生も大人で一人の人間
お互いに助け合ったり、教え合ったりする



- 外国人 ≡ 英語ネイティブ

シェアルームの生活で気をつけること

- ユニットの問題は自分たちで話し合って解決してください。
- ルールはユニットの全員で話し合って決めること。
- 言いたいことがあるば、本人に直接言ってください。
- 自分の不満を誰かに言いつけて、注意してもらうことが一番のもめごとの原因です。
- ユニットの全員と上手な距離感で付き合ってください。
- ただし、問題や負担を自分で抱え込みすぎないこと。
管理人さん、事務職員、教員に相談すること。

出会いを楽しみましょう！！



